



2022年4月1日

各位

会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
代表者名 代表取締役会長 西川 浩司  
(コード: 5742、東証JASDAQスタンダード)  
問合せ先 常務取締役 藤井 透  
(TEL. 076-425-0738)

## ( 開示事項の経過 )

### 固定資産の取得に関するお知らせ〔新工場の竣工〕及び工場名称変更のお知らせ

当社は、2021年3月5日付「固定資産の取得（新工場建設）に関するお知らせ」にて新工場（立山第3工場）の建設についてお知らせしておりましたが、新工場は2022年3月末に竣工いたしました。つきましては、当月（2022年4月）より稼働を開始いたしますので、お知らせいたします。

また、富山県中新川郡立山町地区内の新工場を含む3工場の内、既設の2工場（立山工場及び立山事業所）の名称を2022年4月1日より変更（それぞれ立山第1工場及び立山第2工場）するとともに、生産の効率化・最適化を図るうえで、各工場の役割を再構築いたしました。当社は、新たな生産体制により、業容拡大を目指してまいり所存であります。

#### 1. 立山第3工場の概要

(1) 正式名称	立山第3工場
(2) 所在地	富山県中新川郡立山町利田
(3) 敷地面積	9,970 m <sup>2</sup> (約3,016 坪)
(4) 構造	鉄骨造/地上2階
(5) 延床面積	4,578 m <sup>2</sup> (約1,385 坪)

(注) 立山第3工場の敷地面積は、現在 9,970 m<sup>2</sup>ですが、2022年2月4日に公表した「固定資産の取得（工場用地）に関するお知らせ」のとおり、当工場の隣地 4,864 m<sup>2</sup>の取得を決定しておりますので、将来的には当工場の敷地面積は、14,834 m<sup>2</sup> (約4,487 坪) となります。

#### 2. 各工場の役割

立山第3工場では、当初はデジタル家電業界向けの大型で複雑な装置の構造物（筐体）や、小型ロボット専用アルミ架台等の組立拠点（大型構造物等生産工場）としてスタートを切る予定でしたが、立山第2工場（旧：立山事業所）の構造や既存設備、これに伴う生産効率及び今後の営業展開による受注状況等を勘案した結果、立山第2工場を大型構造物等生産工場とし、立山第3工場をFA装置（FA：Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）クリーン装置（クリーンブースやクリーンベンチ等のクリーン関連機器）及びロボット関連装置・機器等の設計・製作の拠点（FA機器設計製作工場）とする体制といたしました。

なお、立山第1工場（旧：立山工場）は、従来通りの当社主力製品である“アルファフレームシステム”の重要な生産・物流拠点（AF生産工場）に変更ありません。

このように今後の業容拡大を図るうえで、生産効率を高めるための作業環境の充実は重要な課題と捉えており、また、将来を見据えての積極的な人材採用を推進し、技術者の増員・増強に取り組んでまいり所存であります。

・富山県内にける各工場の役割（業務・生産内容）

工場名	業務・生産内容
流 杉 工 場	機械加工部品及び量産部品等の生産工場
立山第 1 工場 （旧：立山工場）	A F 生産工場 アルファフレームシステムの生産及び物流工場
立山第 2 工場 （旧：立山事業所）	大型構造物等生産工場 大型構造物及び小型ロボット専用アルミ架台等、筐体の組立工場
立山第 3 工場 （新工場）	F A 機器設計製作工場 F A 装置（洗浄装置・検査装置）、クリーン装置及びロボット関連装置・機器等の設計・製作



立山第3工場

以 上